

平成21年9月定例会会議録（第3号）

平成21年9月7日 月曜日 午前10時00分開議

町 田 義 昭 議 長 鈴 木 武 次 副議長

出席議員（18名）

1番	竹 田 博 一	議員	2番	鈴 木 悟 司	議員
3番	我 妻 昇	議員	4番	大 道 寺 信	議員
5番	谷 口 栄 子	議員	6番	蒲 生 光 男	議員
7番	佐々木 謙 二	議員	8番	安 部 隆	議員
9番	渋 谷 佐 輔	議員	10番	高 橋 孝 夫	議員
11番	大 沼 久	議員	12番	藤 原 民 夫	議員
13番	鈴 木 良 雄	議員	14番	小 関 勝 助	議員
15番	鈴 木 武 次	議員	16番	鈴 木 新 助	議員
17番	蒲 生 吉 夫	議員	18番	町 田 義 昭	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
	総務課長兼選挙管		
飯 澤 常 雄	理委員会事務局長	平 英 一	財 政 課 長
遠 藤 健 司	企 画 調 整 課 長	松 木 英 司	税 務 課 長
宇津木 正 紀	市 民 課 長	中 井 晃	健 康 課 長
船 山 祐 子	福 祉 事 務 所 長	高 橋 信 夫	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長
矢久保 浩	消 防 主 幹	飯 田 武 志	監 査 委 員
加 藤 弘 二	教 育 委 員 長	大 滝 昌 利	教 育 長
遠 藤 誠 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
遠 藤 正 明	農 林 課 長	齋 藤 理 喜 夫	商 工 観 光 課 長
鈴 木 一 則	建 設 課 長	平 進 介	管 理 課 長
那 須 宗 一	文 化 生 涯 学 習 課 長	渡 部 政 明	農 業 委 員 会 事 務 局 長
鈴 木 要 一 郎	上 下 水 道 課 長	佐 藤 孝 博	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長
青 木 邦 彦	監 査 委 員 事 務 局 長	浅 野 敏 明	生 涯 学 習 プ ラ ザ 館 長

+

事務局職員出席者

松本 弘 議会事務局長 小関 浩幸 補佐
高橋 由美 主任 塚田 知広 主任

議事日程（第3号）

平成21年9月7日 月曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

8番 安部 隆 議員
3番 我妻 昇 議員
4番 大道寺 信 議員
1番 竹田 博一 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第3号）に同じ

+

+

+

開 議

○町田義昭議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、遠藤誠一選挙管理委員会委員長から、午前中の会議を欠席させてほしい旨の届け出があり許可いたしましたので、ご報告申し上げます。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○町田義昭議長 日程第1、市政一般に関する質問を4日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

安部 隆議員の質問

○町田義昭議長 順位6番、議席番号8番、安部隆議員。

(8番安部 隆議員登壇)

○8番 安部 隆議員 おはようございます。

9月定例会に当たり、順次質問を申し上げますので、簡潔な答弁をお願い申し上げます。

冒頭に申し上げますが、ことしの夏は長雨の中、梅雨も明けない異常天候で、農作物の特に稲作の生育が心配されているところでございま

す。

こうした状況の中、衆議院の解散総選挙が実施され、暑い中での選挙戦が繰り広げられたのでございます。結果は知るがごとく、政権交代の旗印のもと民主党の大勝利に沸き立ち、長期にわたる戦後政治に終えんを告げ、新たな政党政治の幕が開かれた結果に終始したところでございます。これまで自民党による長期にわたる国政を担い国民のための政策には、心よりありがたいものがあつたと思っております。政権が変革しようとしている今日、21世紀の新たな政治改革に大いに期待をいたしたいと存じます。

さて、質問に移りますが、1つ目の高齢化社会における介護保険制度等について伺います。

高齢化社会がいよいよ本格化し、各界がそれぞれ対策、理想を掲げて盛んに論ぜられています。そこで、安心して老人になれるまちづくりとは何かを考えてみたいと思つたところでございます。

これからの老人対策は、公的な行政サービスと自己の自助努力、元気な老人と病弱・介護を必要とする老人、ひとり暮らし等に区分したきめ細かな対策が必要と思つています。人間はだれでも老人になる。これは遺伝子学的に生物が成長して最後に衰えることは決して他人事ではなく、自分のことであると思っております。

昔の家族構成は崩壊して、近代社会となり、核家族化、少子化、共稼ぎ等社会が大きく変化し、幾多の問題を抱える中であつて、これから高齢化社会がどう進展し、どうかかわりを持つべきか。今世紀半ばには3人に1人が老人となり、いわば老人のまちとなり、子供は金の卵となることと思つています。

定年退職した後の人生に何をすべきか、退職前から見通しを立て、生活設計を立てる必要があることは多くの方が申している事項でございます。自分の趣味や技能を生かす者、多くは再就職を希望しているが、思つような就職にはつ

+